やはタウンスクール2025

2026.2.4 八幡小学校地域学校協働本部 八女市立八幡小学校

2年 道徳科「ぼく」

２年生の道徳科の学習に３名の参加協力をいただき、いのちの大切さについて考える題材「ぼく」を活用し、子どもたちと一緒になって考える活動を行いました。

子どもたちもお話しに登場する人物と自分の経験を思い出して考え、自分のすきなことを話し合ったり、いろいろなことができるのは生きているからであることに思いを寄せたりしました。参加した方の思いを聞くことができ、子どもたちも様々な考えや思いのあることに出会え、とてもよい学びとなったのではないでしょうか。

【参加者の感想より】

○ いのちの大切さを学びました。子どもたちのいろいろな好きなことを聞き、私も一緒だと思いました。とても勉強になりました。

○ 子どもたちと授業に参加し、あらためて生きることの大切さを知らされ、皆との関係がどう生かされているか、また今後の生き方を教えられました。本当にありがたいことでした。

○ 子どもたちが好きなことを考え、そのことを実行するためには生きることが大切であることを学べたと思いました。私自身もいのちの大切さをあらためて思いました。

3年 社会科「むかしの道具を調べよう」

３年生の社会科では、昨年に引き続き、子どもたちと七輪体験を行いました。

今年は自分たちでおもちを焼くことにチャレンジし、七輪の熱が縦方向によく伝わるため、焼けているところを外側に向けたり、細めに裏返すことできれいにやけたりすることを学びました。

おもちを食べた後は、GT4 名の先生方から、それぞれが子どもの頃である50～70年前の生活の様子を聞きました。今とはずいぶん異なるくらしの様子に、子どもたちもいろいろと知りたいことや調べたいことが生まれてきたようです。

調べ学習を行いながら、今後は黒木町の学びの館や八女伝統工芸館を訪問することになっているそうです。

実物を見たり体験したりして、昔の道具やくらし、生活のうつりかわりについてたくさん学んでほしいと思います。

【問合せ】 八女市立八幡小学校 八女市新庄385 TEL0943－22－4801

※ このおたよりをインターネットや SNS にアップロードされることは固くお断りします。